三郷町文化財のしおり

（文化財マップ・文化財の解説）

木造地蔵菩薩立像（観音寺）（立野）国指定重要文化財

平安時代後期の仏像で、欅の一木彫りです。高さ一二一センチ、重さ六〇キロで、平安時代の彫刻の特徴である翻波式（ほんぱしき）が見られます。大正十一年七月に国宝に指定され、戦後の法律改正によって現在は重要文化財となっています。

（拝観要予約）

宝相華彩絵奚婁鼓胴（龍田大社）（立野）国指定重要文化財

奚婁鼓は中国の太鼓の一種で奈良時代に我が国に伝わり、唐楽で使われていました。この胴部は優美な宝相華唐草文を描き、条線は金箔を押した華麗なもので、平安時代後期の特徴を表しています。平成七年六月に重要文化財に指定され、所有者は龍田大社ですが、現在は奈良国立博物館に保管されています。

平隆寺跡（勢野）奈良県指定文化財

元の平隆寺は、法隆寺とほぼ同時期に建立された寺院で、聖徳太子の創建によるものと言われています。発掘調査の結果、飛鳥時代の瓦などが確認され、同時代に建造された寺院跡であることが分かりました。現在の平隆寺は江戸時代に建てられた融通念仏宗の寺院です。

（拝観要予約）

遍照院 シダレザクラ（勢野）町指定文化財

勢野西の高台にある遍照院に、推定樹齢二五〇年を越えると言われているシダレザクラがあります。樹高十三メートル、目通し周囲二・二メートル、枝張りは約二十メートルあります。ソメイヨシノより少し早く開花します。境内からは大和平野が一望できます。

立野城 宝篋印塔 観音寺（立野）町指定文化財

戦国時代の立野城跡（現在の城山台）から発見されました。この宝篋印塔は小型ですが形、姿がよく、彫刻技法から室町時代後期の特徴が見られ、天文五年の刻銘があります。長年土中に埋まっていた為か保存状態も良好で、今は発掘地にゆかりのある観音寺に保管されています。（拝観要予約）

辻ノ垣内瓦窯 一号窯・二号窯（勢野）町指定文化財

勢野東地区の開発計画で、平成八年二月から埋蔵文化財調査が行われ、飛鳥時代から白鳳時代にかけて造られた四基の窯跡が発見されました。出土品には「平隆寺式」瓦も見受けられ、近くの平隆寺や法隆寺の瓦を焼いたものと思われます。保存状態の良かった二号窯・二号窯をウレタン加工して、現在地に保存展示されています。

八幡神社 本殿（勢野・薬隆寺）国指定重要文化財

一間社春日造り桧皮葺、朱塗りの美しい建物で、前面の蟇股（かえるまた）や虹梁鼻（こうりょうばな）などの意匠彫刻が特に優れています。室町時代末期の建立で、大正九年四月に国宝に指定され、戦後の法律改正によって現在は重要文化財となっています。御祭神は誉田別命（ほむたわけのみこと）応神天皇です。

開運橋（信貴山）登録有形文化財

開運橋は、信貴山門前の大門池に架かる全長一〇六メートルの「上路カンチレバー橋」です。昭和六年十二月に竣工し「トレッスル橋脚」を用いていることも珍しく、その形式としては現存する最も古い橋です。

信貴山参詣の近代化を表す貴重な文化財で、平成十九年七月に国の登録有形文化財となっています。

持聖院 薬師如来坐像（勢野）町指定文化財

勢野東地区にあった惣持寺の本尊と言われる薬師如来坐像が、もと塔頭の持聖院に本尊として安置されています。欅材を丸彫りにして前後を割り接いでいます。坐高一〇三センチの等身大で美しい顔立ちと豊満な肉付き、流麗な衣文の線など鎌倉時代前期の特徴が見られます。（拝観要予約）

持聖院 線刻薬師如来笠石仏（勢野）町指定文化財

持聖院には、一針薬師とも呼ばれている高さ一七五センチ、幅一九一センチの笠石仏が伝わっています。脇侍に日光菩薩、月光菩薩、そしてその周囲に十二神将が配され国内有数の大きさです。全体の構図、線刻の特徴から鎌倉時代のものと思われ、勢野東地区にあった惣持寺との関連からも貴重な文化財です。

薬師如来像拓本

三室山古墳 二号墳・三号墳（立野）町指定文化財

三室山展望台への手前を右手に入ると、三室山二号墳と三号墳が隣接しています。二つの古墳は方墳で、それぞれ長辺が二十一・五メートル、短辺が十七・五メートルの「双墳」のうえ、一つの古墳に石室が二つある「双室墳」です。七世紀前半のもので、飛鳥・奈良時代の墳墓研究の上で貴重な存在です。

元寇図・御祭礼図・七福神図（薬隆寺）八幡神社（勢野）町指定文化財

（薬隆寺）八幡神社の絵馬殿に納められています。七福神図は、七福神が山海の珍味を囲んで歓談しているもので、元禄十三年（一七〇〇）の作です。元寇図は、鎌倉時代の蒙古襲来の戦いを描いたもので、江戸時代中期の宝暦十二年（一七六二）に描かれたものです。御祭礼図は幕末頃の当神社の様子が細かく描かれています。慶応三年（一八六七）二月に奉納されました。（拝観要予約）

御祭礼図

禅入寺 十三仏画像（南畑）町指定文化財

十三仏画像は死者の忌日に合わせて、仏様の尊像を配したものです。禅入寺に保存されている十三仏を描いた掛け軸は、室町時代末期のもので、画面はかなり荒れていますが、全体として色彩は良く残されています。（拝観要予約）

南畑検地帳（禅入寺）（南畑）町指定文化財

文禄検地帳（信貴南畑村御検地帳 文禄四年八月） 延宝検地帳（南畑村検地帳 延宝七年八月）

文禄検地は太閤検地とも言われているもので、豊臣秀吉が我が国で初めて日本全国を同じ物差し、同じ枡で測定した検地です。延宝検地は徳川幕府が、太閤検地より基準を短くして再測定した検地です。南畑には珍しく両方の検地帳が残されており、禅入寺に保管されています。（拝観要予約）

交通アクセス

電車

- 大阪・天王寺駅…［JR関西本線］…王寺駅…［近鉄 生駒線］…信貴山下駅
- 大阪難波駅…［近鉄奈良線］…生駒駅…［近鉄 生駒線］…信貴山下駅

お車

- 西名阪自動車道　法隆寺ＩＣまたは香芝ＩＣ →約15分
- 第二阪奈有料道路　壱分ＩＣ →約20分
- 阪奈道路　生駒登山口ＩＣ →信貴生駒スカイライン経由約30分

発　行　日　2013年6月
編集・発行　三郷町教育委員会
奈良県生駒郡三郷町勢野西1-2-2
電話番号　0745-43-7332
協　　力　史学さんごう